

66回生 東京キャンパスツアー

8月6日(月)

2学年恒例の、東京キャンパスツアーを今年も実施。志を高くもった12名が、新神戸駅に集結し、新幹線に乗り込みました。



東京駅には11:19着。驚いたことに、雨が降っていました・・・長い間、降ってなかったのになあ・・・



宿舎は昨年と同じ、地下鉄の駅から徒歩1分のモンテ半蔵門でした。



まずは、東京大学駒場キャンパスを訪問。62回生から64回生までの現役東大生5名が出迎えて、キャンパス内を案内してくれました。





続いて、夕方からは蜻蛉会東京支部主催の激励会に出席。市ヶ谷まで移動しました。すでに就職されている大先輩からのメッセージの紹介や、現役東大生への質問会など充実したプログラムを組んでいただき、かつ夕食も準備していただきました。





8月7日(火)

この日は、本郷キャンパスの東京大学主催オープンキャンパスに参加しました。
すごい大行列で、びっくりしましたが、事前に申し込みをしていたので、それぞれ希望の
講義や案内を受けられて、満足した様子でした。



午後からは、希望の生徒2名が、先輩の案内で早稲田大学に移動。15:30に東京駅で合流して、16:10 発の新幹線で帰神しました。御世話になったみなさん、ありがとうございました。



東京キャンパスツアー—生徒感想

東京キャンパスツアーでは、自分の学習方法の間違いや勉強に対する考え方の甘さがよく分かりました。質問会の時に、現役東大生の先輩に学習方法について尋ねてみると、ほとんどの先輩の話の中で『毎日の積み重ね』という言葉が登場しました。これは普段からよく聞けけれど、実際にそれを実践して成功している方の言葉は説得力がありいつもよりスッと頭に入ってきました。ぼくは、普段の学習や提出物、テスト勉強も気分が乗ったときにまとめてやるというような方法が中心だったので、このままではダメだと感じ改善して行こうと思いました。また、息抜きが大切という話をしてくださった先輩もいました。この先輩は、勉強ばかりするのではなく、体育祭や球技大会を全力で取り組むことで気分を入れ替えをして受験生活を乗り切ることができたいです。ぼくもこの先輩のように行事に一生懸命取り組み、上手く気分をリフレッシュしながら受験勉強を乗り切ろうと思いました。

今回のキャンパスツアーは、先輩方や大学の方々から多くの話を聞かせていただくことで、自分にとって大学や進路について、また普段の勉強方法について考えることの出来るよい機会となりました。高校二年生という今、自分のこれから進む道を選び決めていかなければなりません。やりたいことがたくさんあったとしても何かを選択して、時には何かを捨てていかなければなりません。そのような分かれ道に現在、悩みながら立っています。しかし、まだ広く選択できるということでもあります。道は自分で決めなさい、最後まで考え抜きなさいと先輩は話されました。僕も妥協してしまわず、最後まで考えて進んで行きたいです。勉強に関してはキャンパスツアーを通して、自分はまだまだ実力も取り組みも足りていないと思い知らされました。思っていた以上でした。『時間はけて戻らない、後になって後悔する、自分だってそうだ。後悔が無いように今を頑張れ』と先輩は話されました。後悔はしないとまだ言い切れませんが、このキャンパスツアーで学んだことを、そして今を大切にしていきたいと思います。最後になりましたが、先輩方にお世話になった皆様方、素晴らしいキャンパスツアーにして頂いて本当にありがとうございました。

このキャンパスツアーでは小野高を卒業した様々な年齢層の先輩方と大学の説明等を通して、交流することが出来ました。その中でも一番印象に残ったのは、一日目の晩に行われた、蜻蛉会東京支部主催の交流会・夕食会です。生徒三人に対して現役東大生一人で質疑応答をローテーションで回して、計五人の方の話を聞くことが出来ました。内容は勉強の事や私生活についてなどでした。それらの内容は人によって異なりましたが、志望大学はできるだけ早く決めるべきという意見は全員一致でした。自分の第一志望は東大でなく阪大にしています。しかしながら今回の企画と先生の自信が湧くような言葉で、東大目指してみようかなと、少しですが思いました。どちらにしる目指すのなら早めに決めて、対策していこうと思います。この企画が自分の人生を大きく左右したかもしれません(笑)最後に蜻蛉会の皆さん、同伴して下さった大江先生・牛尾先生、その他関与して下さった先生方、この度は僕たちに大変貴重な経験をさせて下さってありがとうございました。

この東京キャンパスツアーで印象に残ったことは、蜻蛉会東京支部の交流会です。小野高校 0B の現役東大生や卒業生から生の話を聞かせて頂きました。最初は東大はやっぱり堅苦しいまじめな生活を送っていると考えていましたがバイトや趣味、好きなことに打ち込む余裕もあるということを知りました。また、一人の現役生からは『今まであまり勉強できていなくても、今から“本気”で勉強すれば東大に受かることができる』とってくれました。国会議員の高橋昭一さんにも話を聞かせていただき、『東京は全ての情報が集まる場所だから、就職先の手札を地方に比べたくさん持つことができますので是非東大に来てください』ということ聞かせていただきました。このように、たくさんの方々から熱の籠った話を聞いて、言葉では表しにくいですが、例えるなら、中学校での部活動の大会で仲間から応援をしてもらいながら戦ったときの恐れをしらない勇気のような物を感じることが出来ました。これは、この東京キャンパスツアーに来てこの交流会を開いて貰わなければ、一生感じる事が出来なかったと思います。だから私はこの気持ちを大事にしまい、諦めかけたり投げ出そうとした時に思い出して受験を乗り越えるまで頑張り抜こうと思いました。

今回、東京大学オープンキャンパスツアーに参加して、大学を見学するだけでなく、蜻蛉会東京支部主催の交流会で、先輩方にいろんなお話を聞いたりして、良い体験ができたなと思いました。先輩方曰く、今からでも東大を十分目指せるとのことなので、まだはっきりと志望大学を決めてない僕は、じっくりと、東大を含むいろんな大学の情報を集めて、その上で自分の進みたい大学を決めたいと思います。

今回の東京キャンパスツアーは、自分にとって非常に良い経験になりました。蜻蛉会東京支部の方や東大生の先輩のお話を数多く伺うことができ、自分の進路決定の大きな助けになるのではないかと思います。皆さんのお話の内容は多種多様であり、中には正反対のご意見もありました。人間の価値観は一人ずつ異なり、世の中にはたくさんの情報や見解が存在します。その中から今の自分に必要だと思うこと、正しいと思うことを選ぶのは自分なので、後から振り返った時に正しかったと思える判断ができるように、日々を過ごしていきたいと改めて思いました。また、二日目の東京大学オープンキャンパスでは、日本トップクラスの大学の空気に触れ、貴重な体験ができたと思います。オープンキャンパス参加者も東大生も、独特の雰囲気や漂わせている気がして、東大は特別なところなのかなと感じました。今回のキャンパスツアーにご協力いただいた多くの方に感謝し、この体験を今後活かせるようにこれから努力していきたいと思います。

一日目の先輩との交流にて先輩方の大学生生活の状況を聞いて東京の大学の空気を感じることができました！(^_^)いつも自分は北播磨の地域からでないのもので日本中のまたある部分では世界のトップレベルの技術が集まり人が集まり、情報が集まり、日本の経済の中心である場所で学ぶということに新鮮なものを感じました。大学を選ぶうえでその大学で通っている人と話をして大学のイメージが全く変わりました。大学というのは本当に面白そうところだとも思いましたはやく行きたい大学を見つけてそれに向かって頑張ろうと思いました

今回東京キャンパスツアーに参加して、兵庫県からは遠くて実感のわからない東京ですが実際に東大をみたりOBの方に話を聞いたり、貴重な体験が多くできました。東京大学は設備も充実し、高い目標を持った人が多く集まる場所なのかなと思えました。大学によってそれぞれ雰囲気は全く違いますが、東大の雰囲気を生で味わえたことで、自分の進路選択の参考になりそうです。また、蜻蛉会東京支部から激励があり、ここにいる人は全員小野高出身なのだなと思うと、重役の方々も多く、小野高は伝統のある学校だと改めて感じました。僕たちのために立派な会議室を貸していただいたりと準備してくださり、とても恵まれた環境の中にいます。そして東大生であるOBの方もおっしゃってましたが、親のおかげで時間のほとんどを自分のことに使えるというのは恵まれていることだと思います。こういったことを当たり前のことだと思わずに感謝の気持ちをもって、これからの学校生活を過ごしていきたいです。

今回のキャンパスツアーは今後の進路選択に大きく影響するような素晴らしいものでした。実際に大学の雰囲気を感じられたことは勿論、小野高校のOBの方々にキャンパス内を案内してもらえたり、交流会ということで様々なお話を聴かせていただいたことはこれからの生活において大きな経験、モチベーションになると思いました。また交流会、夕食会として蜻蛉会の方々に素晴らしい会を開いて頂き、小野高校という環境はとても恵まれているということに改めて実感しました。ありがとうございました。この経験を無駄なものにしないよう妥協せず、進路選択や日々の学習、生活につなげたいと思います。

今回のオープンキャンパスは私にとってはオープンキャンパス第1号でした。ですがきっとどのオープンキャンパスよりも忘れられないものになるだろうと思います。一泊二日という短い間でしたがたくさんの人との出会いがありました。小野高校卒業の東大生、東京勤務の方、東大の大学院生、教授など、普段はなかなかお会いすることのできない方と一対一でお話をするという貴重な体験をすることができました。そうした中でいろいろな人の多様な進路の形に触れることで、自分の進路を見つめ直し、また新しい選択肢を発見するきっかけにもなりました。また「お互いに受験がんばろう!」と言い合えるような大切な仲間を青森や広島などにもできて、すごく嬉しかったです。さらに大学受験についてだけではなく、先代の生徒会について、先輩方の今の小野高校に対する思い、プレゼンテーションのコツなどについても知ることができ、大学受験以外の、学校生活やその後の生活に役立つことも学ぶことができ、とても充実したものになりました。そしてオープンキャンパスに参加していた高校生を見て数字だけではわからないその数の多さを肌で感じ、大学受験の規模の大きさを改めて知りました。自分はまだまだ努力しなければいけないと強く思いました。今回の体験を通じ、知ったこと、感じたことをしっかりと胸に刻み、明日から後悔のないように生活していきたいと思いました。ありがとうございました。